

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年7月30日～8月5日)

平成 27 年(2015 年)8 月 7 日

H E A D L I N E S

政治

ワルシャワ蜂起開始71周年
 コモロフスキ大統領、退任に際してTV演説
 シェモニャク副首相兼国防相の中国訪問
 ポーランド国軍の将軍及び大将の任命式
 第2回「レフ・ワレサ連帯賞」、ロシア人ジャーナリスト・ネムツォヴァ氏に授与される
 シェモニャク副首相兼国防相の米国下院議員との会談
 国軍職員の給与引き上げ

経済

2015年も農産品に輸出が好調
 6月の輸出は大きく増加
 7月のPMIは54.5ポイント
 ポーランドへの観光客が増加
 ハイブリッド自動車や電気自動車はポーランドでは少数
 ポーランド国内の空港利用者数は好調
 商業スペース向け賃貸は供給過剰気味
 ポーランドにおけるシェールガスへの関心が失われつつある
 KGHMが太陽光発電所を建設

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

ワルシャワ蜂起開始71周年【1日】

1日、ワルシャワ蜂起開始71周年を迎え、ワルシャワのポヴォンスキ墓地を始めとする市内各所、その他主要都市において記念行事が執り行われた。ポヴォンスキ墓地にて開催された記念式典には、ドゥダ次期大統領、ミハウオフスキ大統領府長官、キダヴァ＝ブウォンスカ下院議長、グロンキエヴィチ＝ヴァルツ・ワルシャワ市長等が出席した。

コモロフスキ大統領、退任に際してTV演説【4日】

4日、コモロフスキ大統領は、退任に際してのTV演説を行い、国民に対する感謝を表すると共に、自身が大統領として合意、対話、妥協を重視してきたこと、安全保障・防衛政策及び親家族政策等において多くの成果を上げられたことを述べた。

外交・安全保障

シェモニャク副首相兼国防相の中国訪問【30日】

7月29－30日、シェモニャク副首相兼国防相は、中国を訪問し、常万全国防部長及び范長龍中央軍事委員会副主席と会談した。イスラム国・中東情勢について協議がなされ、二国間関係では、両国国防大学間の協力強化し、ポーランドにおいて中国軍人のための特別コースを来年設置する。中国側からは、両国の良好な関係のシンボルとして中国海軍の艦団をポーランドに派遣する旨発言があった。

統領から、本年2月にモスクワ市内で殺害されたロシアのネムツォフ野党指導者の娘であるロシア人ジャーナリスト・シャナ・ネムツォヴァ氏に同賞が授与された。同賞の授与は、民主主義文化及び人権尊重を促進することを目的としており、ネムツォヴァ氏は13名の候補者の中から最終的に選定された。

ポーランド国軍の将軍及び大将の任命式【1日】

1日、コモロフスキ大統領は、ポーランド国軍の将軍及び大将の任命を行い、8名が新たに将軍に格上げされた。

シェモニャク副首相兼国防相の米国下院議員との会談【5日】

5日、ワルシャワにおいて、シェモニャク副首相兼国防相は、ロブ・ウィットマン他の米国下院議員と会談し、二国間及びNATO協力について協議した。

第2回「レフ・ワレサ連帯賞」、ロシア人ジャーナリスト・ネムツォヴァ氏に授与される【4日】

4日、ワルシャワにて「レフ・ワレサ連帯賞」の授与式が開催され、コモロフスキ大統領及びワレサ元大

国軍職員の給与引き上げ【5日】

5日、ポーランド国防省は、3.4億ズロチを国軍職員の給与引き上げに充てる旨発表した。2.15億ズロチは、職業兵士、軍情報部、防諜部の職員へ、1.25億ズロチは他の職員の給与引き上げに充てる。

経 済

経済・財政政策

2015年も農産品に輸出が好調【31日】

2014年のポーランド産食料品・農産品の輸出は前年比7.1%増の220億ユーロであったが、2015年も引き続き好調で、最初の5ヶ月で同5.5%増となっており、通年では250億ユーロに達すると見られている。サビツキ農業・農村開発大臣は、国内消

費及び輸出の両方において、ポーランド産食料品の販売促進と市場の反響が非常に良いと話している。新規市場を開拓したことも大きな要因となっており、2015年に入りアフリカ向け輸出は50%、中東向けは30%増加している。

マクロ経済動向・統計

6月の輸出は大きく増加【30日】

6月のユーロ建て輸出は、前年同月比で13.3%増、前月比で3.1%増となる145億6千万ユーロとなっている。ズロチ建てでは、前年同月比13.9%、前月比5.1%増となる605億9千万ズロチ。今夏の輸出は例年より大きな増加となることが見込まれており、2015年通年では、ユーロ建てで前年比12.

3%増となる1,766億ユーロ、ズロチ建てで同10.6%増となる7,277億ズロチに達するとの予想が出ている。

7月のPMIは54.5ポイント【3日】

7月の購買担当者景況指数(PMI)は、6月の54.3ポイントよりさらに増加した54.5ポイントとなつて

いる。物価が上昇し始めているにもかかわらず輸出受注が約1年半にわたって増加し続けていることが最大の要因となっており、鉱工業生産が6月から再び増加していることも影響している。

ポーランドへの観光客が増加【3日】

2014年にポーランドを訪れた観光客は1,600

万人に達し、2013年の1,400万人からさらに増加している。ドイツからの観光客が引き続き多く574万人、続いて英国の114万人となっている。旅行客が滞在中に消費した総額は230億ズロチとみられており、1人当たりの消費額では米国の3,733ズロチ、中国の3,463ズロチが特に多い。

ポーランド産業動向

ハイブリッド自動車や電気自動車はポーランドでは少数【3日】

ポーランド国内で今年1-3月に登録されたハイブリッド自動車及び電気自動車はわずか67台であった。同時期の（従来型の）自動車が登録台数は90,000台であった。ポーランド自動車産業協会のFarys会長は、自動車購入の基準が価格となっている中、ハイブリッドや電気自動車は高額であると指摘している。加えて電気自動車の充電ステーションが国内に少ない点も挙げられる。販売店もそれら（従来型でない）自動車への関心があまり伸びていないと述べており、むしろ減少が見られるという声もある。価格が最も大きな問題と述べるとともに、ハイブリッドや電気自動車へのインセンティブがなければ現状は変わらないとも述べている。

ポーランド国内の空港利用者数は好調【4日】

ポーランド民間航空局(ULC)によれば、2015年第1四半期のポーランド国内における空港利用客数は、前年同期比15%の増加となった。このほか、ワルシャワ・ショパン空港では2015年上半期の利用者数が最大となったほか、カトヴィツェ空港では7月に過去最高の利用者数を記録した。投資においては、ショパン空港が群を抜いており、今年5月には新ターミナルを開業

したことが挙げられる。同空港では、今後の利用客が増加するとの予測を踏まえ、空港のキャパシティを2,200万人に拡張することを計画している。そのほか、カトヴィツェ空港での5億ズロチの投資計画、クラクフ・バリツェ空港での新規路線開拓やワルシャワ・モデリン空港の拡張計画等が進められている。

商業スペース向け賃貸は供給過剰気味【4日】

ポーランド中央銀行が不動産への融資に慎重になるよう銀行に求めているという。中央銀行によると、オフィス、倉庫及び小売りスペース向けの賃貸が近年非常に多く、顧客からの値下げ要求が増えていることや空きスペースも多く見受けられ、最悪の場合、当該資産の保有者がローンを支払えずに破産宣告をせざるをえなくなるケースもあるという。こうした背景を踏まえ、中央銀行は、各銀行が商業用賃貸のための不動産に関するローンの相談を受けた場合、担保を慎重にチェックするとともに、その資産が十分な収益を見込めることについても確認をするようアドバイスをしているという。ただ、現状では銀行のこうした方面への関与はあまり大きくなく、商業施設の建設に至っては、外資が主導して建設することが多いという。

エネルギー・環境

ポーランドにおけるシェールガスへの関心が失われつつある【5日】

ポーランド環境省の発表したデータによれば、8月1日時点の炭化水素に関する採掘・調査許可数は40であった。今年5月1日時点では48、昨年末は53であった。また、米国等の大手石油・ガス開発会社がポーランドを撤退していることなどから、ポーランドでのシェールガス採掘に対する関心が消えつつあるという趣旨の報道がなされている。現在、ポーランド及び外国の企業10社が試掘を行っており、また、これまで70か所で

試掘が行われている。

KGHMが太陽光発電所を建設【5日】

KGHM社は、太陽光発電を始めとする再生可能エネルギー発電施設の建設を計画している。同社の発電子会社によれば、今後5年で30%の電力（約300MW）を再生可能エネルギー由来のものにしたいと述べている。1MWあたりのコストは500万ズロチであるため、計15億ズロチに達する。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ（平成27年度前期分）

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf>

にて、平成 27 年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 展覧会: 日本の織物展「Wielowatkowe Piękno」【6月2日(火)～9月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の織物デザイン及び技術に関する展覧会が開催中です。

開催場所: クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl>

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【6月13日(土)～9月6日(日)】

トルンにて、トルン旧市庁舎博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: トルン, トルン旧市庁舎博物館, Rynek Staromiejski 1

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/strona-654-arcydziela-sztuki-japonskiej.w.html>

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【6月18日(木)～8月9日(土)】

ワルシャワにて、ワルシャワ国立美術館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワルシャワ国立美術館, Al. Jerozolimskie 3

詳細:

<http://www.mnw.art.pl/edukacja/programy-do-wystaw-czasowych/arcydziela-sztuki-japonskiej-w-kolekcjach-polskich/>

【予定】 日本刀の魅力【7月24日(金)～9月13日(日)】

ワルシャワにて、アジア太平洋博物館主催による『日本刀の魅力』が開催されます。日本の刀剣類が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, アジア太平洋博物館, Al. Solec 24

詳細: <https://www.facebook.com/events/970205409668252/>

【予定】第11回国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2015【8月7(金)～8日(土)】

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『第11回国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2015』が開催されます。欧州各国の選手と共に、隠岐の島より日本の力士も参加します。

開催場所: クロトシン市, ul. Maly Rynek 1

詳細: <http://www.sumo.org.pl>

【予定】水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」【8月19日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」が開催されます(日本語音声, ポーランド語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsletter@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)